

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	発達支援施設 はじめの一步 福間事業所		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日 ~ 2025年2月5日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	89名	(回答者数) 37名
○従業者評価実施期間	2025年3月10日 ~ 2025年3月30日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12名	(回答者数) 12名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年3月31日		

○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童一人ひとりの社会性の向上	活動の中で作戦会議や児童での話し合いを設け、目標の確認→活動実践→振り返りを行うことで他者と意見共有を図っている	引き続き左記の点を継続擦るとともに、運動場面だけではなく生活面や学校生活の中での他者との華夏w利を学ぶ機会を設けていく
2	自己発信力の向上	活動の際に、日直制・担当制を取り入れることで、思いの発信の練習をおこなう。またチームでの話し合いの中で司会を行ったり意見の発信を行うことで発信力の向上に務めている	話し合いの中で、他者の意見を取り入れたうえで総括した意見を出す等、相手の意見を加味したうえで発言ができるように配慮していく
3	運動機能の向上	学校体育における苦手種目を練習する機会を設け、自信をもって取り組めるようにしている。	協調運動等より細かな動きの練習ができるよう活動の中でポイントに練習を取り入れていく

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	集団であるため、個々のニーズに沿ったものが提供できない場面がある	集団での運動をメインとしているため、利用時間の都合上個々のニーズや課題にすべて添えないことがある	理学療法士の雇用はできているため、集団の中で必要場面で対象児童をピックアップし課題に取り組むようなシステムがあるとよい
2			
3			